

グローバル研修

オーストラリアにおけるワーキングホリデーについて

- 1 目的 探究学習委員会の生徒が今後課題研究を進めていく上で、グローバルな視点で課題研究を深められるよう、研究視覚の多角化をはかることを目的とする。また、対象を探究学習委員の生徒以外にも広げ、大学入学後にグローバルな学びの機会を自ら選択できるようなきっかけとする。
- 2 日時 令和3年10月22日(金) 13:00~14:30
- 3 場所 本校地歴科室
- 4 対象 探究学習委員会生徒 27名
- 5 助言者 筑波大学理工情報生命学術院生命地球科学研究学群
地球科学学位プログラム修士課程2年 松原咲樹氏
- 6 内容 松原氏は、大学時代にオーストラリアのシドニーで1年間ワーキングホリデーの経験をしておられる。語学学校やアルバイト先での苦労話、帰国前のオーストラリア一周旅行での出来事、オーストラリアでのご経験をもとに帰国後日本で実践してみたことなど、貴重な経験のお話をいただいた。

7 生徒の感想

・今回、松原さんのお話を聞いて、もともと海外に行ってみたくてという思いはあったが、よりいっそう海外に行きたいと思った。今までは純粋に日本じゃない世界を見たいと思っていたけれど、アボリジニの人の話や、エアーズロックの話聞いて、国の楽しく、明るい面だけでなく、その国に滞在することを通して、宗教や歴史の面も知りたいという気持ちになった。また、特に心に残ったのは、海外に行く不安の要素を考えたらキリがない、不安はあくまで不安でしかない。という言葉で、私は、もし治安が悪くて差別を受けたらどうしよう、など不安に思う部分もあったけれど、この言葉を聞いて、まずはとりあえず行動してみることが大切だと感じた。松原さんは家、仕事、英語力もないまま海外に行くとおっしゃっていたけれど、日本のレストランに片っ端から電話をかけて仕事を探したり、補講に毎回参加したり、シェアハウスでは日本人とも英語で話そうとルールを決めたりなど、根気や信念が強くないと出来ないことをたくさんして、本当にすごい人だなと思った。

また、ブラジルの人は文法はあまり気にせず、パッションで英会話をすることや、補講の授業

内容など、私たちの探求のヒントになるようなことがあり、これからの活動に活かしていこうと思った。

・ワーキングホリデーにおいて気をつけるべきことや大切なことが学べた。また、1番心に残ったのは、自分の意志を強く持って赴くままに行動することも時には大切ということ。国民性として日本人は謙虚で自分の意志を表に出そうとしない。また、行動力にも欠けていると感じる。それは自分が1番当てはまっているし、改善したいと思っていた。今日の話聞いて、より自分を変えたいと思った。大学生になったら、ワーキングホリデーに参加したいと思った。今は海外への渡航が難しいので、英語力を磨いたり人との付き合いを意識したいと思った。いつか海外へ行けたら、自分の行動を制限せずに、また経験を積んで吸収したい。

・今回の講演で、個人的に印象に残ったのはウルルのお話で、その中でも、「基本知識だけは調べておいた方がいい」という言葉である。確かに基本知識は必要だとは思いますが、日本にいるだけだと行く場所の治安の心配やあらゆるリスクなどを考え、そこばかり調べがちになってしまう。百聞は一見にしかずということわざがあるくらいなのだから、松原さんの積極的な行動のようにならず見たり行ったりするのも大切なのだと改めて思った。

また、松原さんのスライドは文字の説明がほとんどなく、写真がほとんどであったのも印象的だった。さらに、TOEICの話も最初と、最後に対比させるように置くことで話がまとまりやすくなっているようにも感じた。私のスライドは伝えようという思いが強すぎてグラフにも説明が多かったり補足説明を、スライドに書くなど文字が多すぎるので参考にしたい。

最後の松原さんの、人の行き方に絶対はない! というお話から、私の班の探究のこれからのテーマの1つである学校に行けない子ども達に対しても、今まで持っていた「可哀想」という考えが何となく変わったような気がした。

自分の知っている世界が自分の思う以上に自分のものさしでしか測れていないことを今回のお話で感じたので、これから、探究だけでなく、自分の視野を広げられるよう様々なことに積極的に取り組んでいきたい。

・お話を聞いてまず松原さんの行動力と努力を惜しまない姿勢に感銘を受け、私自身も松原さんのようになりたいと感じた。

オーストラリアでのお話は非常に内容が濃く、特に様々な国籍や背景を持つ方と関わったことで得た学びの話はとても面白かった。今の探究活動では、地域の災害について調査しているが、もっと幅広い目で見ると海外との違いについて研究するという方法もあったんだなと思った。私も将来ワーキングホリデーで海外に行ってみたくて強く感じました。

